

水稻生育情報 (No.2)

平成29年6月12日
県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
TEL:0296-24-9206

【生育概況】

6月上旬の気温は平年並みで、日照時間は多くなっています。生育状況は、草丈は平年並み、葉色はやや淡く、茎数は調査地点により差が出ています。

表1 水稻定点調査結果(6月9日時点)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色	
					葉色版	SPAD値
筑西市	5月2日	59	44.0	703	4.8	41.3
一本松	(5月2日)	(62)	(44.7)	(580)	(4.9)	(40.6)
下妻市	5月3日	47	39.9	522	4.4	39.6
加養	(5月1日)	(47)	(44.0)	(486)	(5.1)	(42.2)
桜川市	5月16日	62	31.5	233	3.9	37.8
元岩瀬	(5月11日)	(58)	(33.1)	(293)	(4.7)	(39.9)
桜川市	5月5日	56	38.7	336	4.0	38.3
真壁町飯塚	(5月6日)	(53)	(35.7)	(426)	(4.8)	(40.7)

()内は平成24~28年(5ヵ年平均値) ※桜川市真壁町飯塚は過去4ヵ年の平均値

【これからの栽培管理のポイント】

- ・中干し開始時期を迎えているほ場があります。
分げつ盛期になると茎数は急激に増えるので、中干しの適期を逃さないようにしましょう。

・イネ縞葉枯病について

県西地域においてイネ縞葉枯病の発生が拡大しています。この病気は、ヒメトビウンカが媒介するウイルス病です。発病した後の治療方法はありません。

ウンカは6月上旬から中旬頃に水稻に飛来しますが、その際、ウイルスを保毒したウンカがイネを吸汁することで、イネが病気に感染します。保毒していないウンカが感染株を吸汁することで、新たにウイルスを保毒し、この繰り返しで被害が拡大します。

感染すると葉が縞状に黄色くなり、分げつ期には葉先がこより状に垂れ下がり枯死します(写真1)。また、枯死しなかった茎でも正常に出穂しなかったり不稔となるため減収します。

・イネ縞葉枯病の防除について。

茨城県病害虫防除所から6月12日付で注意報が発表され、県西地域で本病の発生が多くなることが予想されます。ウンカ類に登録のある育苗箱施薬を行わなかった場合は、本田防除を行いましょう。特に、昨年被害が大きかった地域では、育苗箱施薬と本田防除を併せて行うことが望ましいです。

なお、本田での防除適期は6月16~25日頃です。

防除方法や薬剤等に関してご不明な点がありましたら、お近くのJA各支店か普及センターにお問い合わせください。



写真1 イネ縞葉枯病の症状